



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2431

2022. 3. 24

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2021~2022年度
国際ロータリーのテーマ

2021~2022年度
地区のスローガン



「活力と輝き」

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



国際ロータリー会長
シェカール・メータ

RI第2650地区ガバナー
馬場 益弘

下村会員
株式会社ハンナ40周年記念号

会長 植野 洋志 副会長 安井 清悟
会計 寺田 信弘 会場監督 松中 隆
理事 小松 玲子 会報委員長 佐川 寛一

会長エレクト 渡邊 巖
理事 笹本 麻琴

直前会長 佃 尚彦 幹事 下村 由加里
理事 猪上 正孝 理事 榎木 晋作

今日は 水と衛生 月間です

第18回(2431回)例会プログラム令和4年3月24日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「ロータリーって何だろう」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 卓話: 岡崎 義幸会員 「自己紹介」
9. 閉会宣言 点鐘

第17回(2430回) 例会報告 2022. 3. 10

ソング

「奈良西RCの歌」

来訪者紹介

倉田 麻里様 ゲストハウスイロンゴ代表
高 麗さん 米山奨学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2430 回	41	3/8	19/33	14	61.1%
通算2428回修正	41	8/8	34/34	0	100.0%

会長の時間 (植野会長)

皆様、今晚は、コロナ禍、例会に参加いただき有難うございます。先週末、会議でお会いした京都大学の名誉教授の方が京都東RCのメンバーとして、金曜日の例会に出席してきたとおっしゃっていました。RCの活動も動き出したのではないかと感じております。

本日は、三重県より倉田さまに卓話をさせていただきます。倉田さま、どうぞよろしく願いいたします。私は三重県への移住を計画しておりまして、現在、新居の建築中です。倉田さんのお宅はちょうどお向かいでして、地域で活発な活動をなさっておられますので、お話を伺いたく思い、お誘いいたしました。

さて、先週は、今月の「水と衛生」月間にちなんで、私たちの体の中の水と、化学反応をしてくれている酵素との関係についてお話をしました。今日は、今年度大学で指導しております院生がしているプロジェクトについて述べたいと思います。

植物は葉っぱで呼吸している、つまり、光合成することはご存じだと思います。よく害虫はその葉っぱを食します。ある種の植物では、そのような被害にあったら、何らかの揮発性物質を放出し、近隣の同族の植物に食害をしらせることが分かってきました。揮発性物質をうけとった近隣の植物は害虫に対する防御態勢にはいるといわれています。一例ですが、害虫が嫌う物質を合成し、虫が寄り付かないようにする現象です。

そこで、どうすれば、近隣の植物が揮発性物質の存在をしるのか、ということです。それには、揮発性物質を受け取り、体内にその存在を伝達する受容体タンパク質の存在が必要なのです。現時点では、まだそのような受容体タンパク質の報告がありません。院生のプロジェクトはその受容体タンパク質を見つけることです。どのようにすればよいのか？ということですが、揮発性物質を固定し、葉っぱから抽出したタンパク質と特異的に結合するかどうかを検出するのです。私は幸いに小さな分子が何かと結合すれば検出できるウルトラ天秤を持っており、そのような実験を行えます。現時点で、やっとな種類候補タンパク質をリストできるところまで来ております。

もし、この研究が順調に進めば、将来的には、害虫による植物への食害をなくすことも可能かと思っています。これで会長の時間をおわります。

幹事報告 (下村幹事)

1. 次週17日の例会は休会です。
2. 24日はクラブデーのため会員外の同伴参加可能です。参加者がおられる方は幹事までお知らせください。
3. 地区大会参加者が2名減りましたので、新たに参加を希望される方は幹事までお知らせください。
4. 例会変更は掲示板にてご確認ください。
5. 地区大会は私服にて参加してください。参加人数が少ないため制服は着用しません。
6. 奈良県下合同事業の感謝状が奈良県児童養護施設協議会様から届きましたので、受付に掲示しています。ご覧ください。

ニコニコ報告

植野洋志会長

本日もご出席ありがとうございます。
倉田さま、卓話楽しみにしております。

林秀彦P会長

やっと春らしい1日でした。
前回例会は久しぶりの例会で、楽しいひとときを過ごせました。ロータリーはいいものですね。
本日の卓話、倉田様よろしく申し上げます。

三木武彦P会長

ウクライナどうにかなんののですか。
ロシア、プーチンえーかげんにせー。(真剣)

猪上正孝会員、渡邊巖会員、東山光秀会員、榎木晋作会員、松中隆会員、小松玲子会員、寺田信弘会員、木村和弘会員、加藤又拡会員、山川喜平会員
倉田様、本日はありがとうございます。
卓話、楽しみにしております。

下村由加里幹事

倉田様、本日は卓話ありがとうございます。
お話を楽しみに致しております。

金田宗寛会員

ほんとに、久しぶりの出席です。
がんばって生きてます。出席できて ニコニコ



出席表彰



■2月出席表彰■

松川 信夫P会長 (在会31年)

■2月出席表彰■

榎木 晋作会員 皆出席1年 (在会9年)

皆様 おめでとうございます

米山奨学生修了証授与



高 麗さん 米山奨学生

米山功労者

杉村 仁P会長 第2回マルチプル

「国際協力から地域活性化へ」

ゲストハウスイロンゴ 代表 倉田 麻里 様

津市白山町に生まれ、青山高原を眺めながら育った私は、大学で森林・林業のことを学び、大学院修了後、2008年よりフィリピンで活動する環境NGOの現地駐在員として、ネグロス島に住むことになった。1980年代の砂糖危機でサトウキビ労働者の子どもたちが飢餓に晒され日本ネグロス委員会などのNGOが活動を行っていた地域だった。

ネグロス島に赴任して最初の仕事は、マングローブの植林事業のコーディネーターであった。大学で森里海連環学*1を学んだことから、マングローブの植林を流域単位での植林活動に発展させた。上流部ではアグロフォレストリー*2の考え方を取り入れ、ラワンなどの原生種と現地に自生する果樹や換金作物であるコーヒーやバナナを組み合わせた森林再生に取り組んだ。サトウキビのモノカルチャーを脱却するため、有機農業に取り組み、オーガニックカフェの経営にもチャレンジした。「国際協力研修センター」という半日はマンツーマンの語学研修、半日は地域に出てボランティア活動ができる三食宿付きの施設もオープンした。

現地の活動に関わってみたいというボランティアを幅広く受け入れ、多くの日本人や都会のフィリピン人が現地を訪れたおかげで、現地の人たちの意識が変わり、地域の産業が発展し、地域がきれいになっていくのを目の当たりにした。

その地で私は、市長から農民・漁民まで、多くの人と繋がり、活動は充実していた。しかし、いつも心の片隅には、故郷のことが引っかかっていた。植林活動で知り合った現地の人と結婚し、子どもにも恵まれたことから、農地と祖父母の家がある白山町へUターンを決意、2017年に帰国した。

故郷に戻ってきて、改めて、地域の高齢化の現状を目の当たりにした。フィリピンは、平均年齢が23歳。山間部でも子どもたちの笑顔があふれていたので、地元の活気の無さが際立った。そこで、フィリピンで国際協力研修センターが有効であったように、この地域にたくさんの外国人が訪れ、地域との交流が生まれれば、地域の良さが見直されるのではないかと。そう思い、ゲストハウスをオープンした。それと同時に、地元の若手経営者らとLanding in HAKUSANという団体を立ち上げ、田舎で国際交流をキーワードに農業と観光の融合で地域を盛り上げようと活動を始めた。

フィリピンで学んだ、私なりの多文化共生の解釈と、Simple is the Bestという生活スタイルを自分のホームタウンである津で実践していくことで、白山町の魅力が届き、世界から若者が集まる町になることを願い、活動を続けていく。

*1 森里海連環学: 森と里と海はつながっているから縦割りではなく横断的な研究が必要と京都大学が提唱した新たな学問領域。

*2 アグロフォレストリー: 農業・林業を同じ場所で行い、お互いの恩恵を最大限に利用しながら豊かな森を育む、包括的でサステナブルな農業。



有機農業事業



ソーシャルビジネス事業

◆オーガニックカフェ Midori



奈良西ロータリークラブ卓話

国際協力から
地域活性化へ

ゲストハウスイロンゴ
倉田麻里



ゲストハウスイロンゴ事業全体構想

農業体験 事業	B&B 事業	貸しスペース 事業
・主に日本人対象 ・日帰りにも対応	・主にインバウンド対象 ・スポーツツーリズム	・事務所・会議室・倉庫 ・マルシェの開催

くらたまり

略歴

- 1983年津市白山町に生まれる
- 2002年県立津高校を卒業し京都大学農学部へ進学
- 2008年より環境NGOイカオ・アコの現地駐在員としてフィリピンネグロス島に住む
- 2017年白山町へUターン
- 2019年ゲストハウスイロンゴをオープン
- 同年 農泊協議会Landing in HAKUSANを立ち上げ代表に就任
- 2021年旧倭村役場を活用し出会いと学びのシェアスペース・ハッレ倭をオープン
- 森林インストラクター・アドバンスダイバー・コンポストアドバイザー・国際協力コンサルタント

奈良西RC通信33



奈良新聞3月17日掲載

第19回 (通算2432回)例会予告
例会日 令和4年3月31日(木)

理事会

卓話時間: 第2回クラブアッセンブリー